

品川区では 平成21年4月1日以降のHibワクチン接種に助成します！

ヒブ Hibワクチン

(インフルエンザ菌b型)

任意予防接種費用の 一部助成を実施します



子どもに「髄膜炎」を起こす菌の約50%がHib(インフルエンザ菌b型)といわれています。子どもの髄膜炎の大半は0歳(ピークは生後9ヶ月)で、5歳以上の発症は極めて稀です。髄膜炎にかかると、命に関わる場合や深刻な後遺症を残すことも少なくありません。Hib ワクチンは「任意接種(保護者の判断で接種するかどうか決めるもの)」です。費用は全額自己負担となるため、品川区では接種希望者に費用の一部助成を行います。

1. **助成対象となる接種年齢** 生後2ヶ月～5歳の誕生日の前日 まで
2. **助成額** 1回につき 3,000円 (1人最大4回まで助成)
3. **接種スケジュール** お子さんの月齢や年齢によって接種回数は異なります。詳細は裏面をご覧ください。

※接種希望の方は、かかりつけ医等へご相談のうえ接種予約が必要です。Hibワクチンは新規輸入のため、すぐに接種できないことが予想されます。希望者は早めにかかりつけ医等へご相談ください。

4. 助成の方法

(1) 品川区内の契約医療機関で接種する場合

各医療機関の定める予防接種料金から、助成金額(3000円)を差し引いた金額をお支払いください。

接種の際は ①母子健康手帳 ②お子さんの健康保険証 をお持ちください。

(2) 上記以外の医療機関で接種する場合

各医療機関の定める予防接種料金を支払って接種をお受けください。接種の際は、母子健康手帳を持参し、医療機関に接種記録の記入をご依頼ください。

接種後に、費用の一部(1回あたり3000円)を助成します。

下記の必要書類等を申請場所へご持参ください。手続きの期限は接種日から1年以内です。0歳で接種した方は、なるべく2～3回分をまとめて申請してください。

助成金は、申請書に記載されている口座に振り込みます。

◆ 必要書類

- ① 申請書
(下記の申請窓口に備え付けてあります。区のホームページからダウンロードできます。)
- ② 接種の際の領収書(窓口で確認後、お返しします。)
- ③ 接種記録のある母子健康手帳
- ④ 振込先の銀行口座のわかるもの(通帳など)
- ⑤ 印鑑(スタンプ式印は不可)



裏面につづく

【申請場所・問い合わせ先】	品川区保健所	5742-9153	品川保健センター	3474-2225
	大井保健センター	3772-2666	荏原保健センター	3788-7013

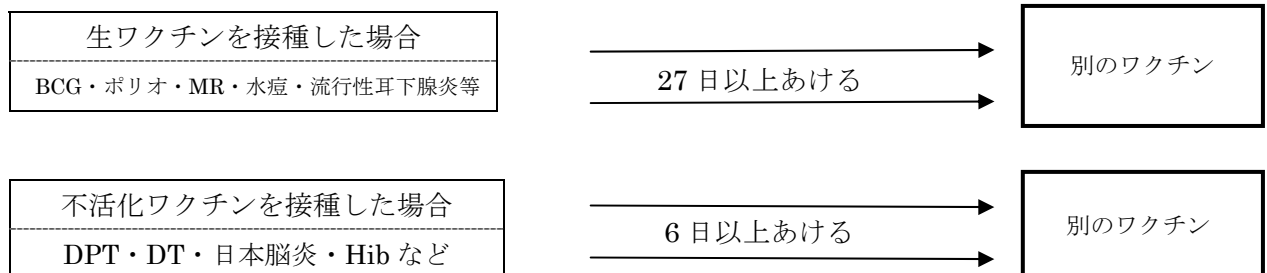
感染症 Hib による	Hib(インフルエンザ菌b型)は、子どもに髄膜炎や喉頭蓋炎などを引き起こす細菌です。これらの病気にかかると、命に関わる場合や深刻な後遺症を残すことも少なくありません。主な患者は生後6ヶ月から1歳までの子どもで、かかると約5%が亡くなり、約20%前後にてんかん、難聴、発育障害などの後遺症が残ります。
Hib ワクチン	Hib ワクチンは、2008年12月に国内で販売開始となった新しいワクチンです。 「任意接種」という種類の予防接種で、接種するかどうかは保護者の判断によります。(有料) 接種スケジュールは、開始時期における月齢や年齢によって異なります。 ●開始が生後2ヶ月～7ヶ月未満：通常4～8週間隔で3回接種し、その1年後にもう1回接種します。 ●開始が生後7ヶ月～1歳未満：通常4～8週間隔で2回接種し、その1年後にもう1回接種します。 ●開始が生後1歳以上5歳未満：通常1回だけ接種します。 ※通常5歳以上の子どもや大人には、ヒブワクチンの接種は不要です。
効果と副反応 ワクチンの	●日本でも海外と同様に、Hib ワクチンを接種した場合、Hib による髄膜炎などの重症感染症の予防効果が確認されています。 ●局所反応 発赤 44.2%、腫脹 18.7%、硬結 17.8% ●全身反応 発熱 2.5%、不機嫌 14.7%、食欲不振 8.7%、下痢 7.9%、不眠 9.8% ほとんどの副反応は接種後2日までに出現し3日以内に軽快し、深刻な副反応はありませんでした。また、接種回数によって、副反応の頻度が増加することはありませんでした。

【 Hib ワクチン と DPT(三種混合)ワクチン の同時接種について 】

品川区では「DPT(三種混合)接種票」(無料)を4ヶ月健診の際に交付しています。Hibワクチンと DPT(三種混合)ワクチンとの同時接種を生後3ヶ月から希望される方は、4ヶ月健診の前に「DPT(三種混合)接種票(無料)」を交付できます。裏面の「申請場所・問い合わせ先」へご連絡ください。

【 異なった種類のワクチンを接種する場合の間隔 】

予防接種で使うワクチンは「生ワクチン」と「不活化ワクチン」があり、ワクチンを接種した後に別のワクチンを接種する場合には間隔を守ることが必要です。



品川区では、生後3ヶ月過ぎに「4ヶ月健診」のご案内(個別通知)を送付しています。4ヶ月健診では、BCG(生ワクチン)予防接種があります。BCGの前にHibやDPTの接種を受ける場合、6日以上の間隔をあけてBCGを接種する必要があります。

【 健康被害に対する救済措置について 】

Hibは予防接種法に基づかない任意の予防接種に位置づけられています。このため、万一Hibワクチン接種による健康被害が発生した場合は、予防接種法の被害救済対象にはなりません。独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく、副作用救済給付の対象になります。